

POPOLA ぽぽらだより

TAKE FREE

ご自由にお取りください

モヤモヤを、ワクワクに。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行するまちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部は、まちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、何かを始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

発行元 春日部市市民活動センター
(指定管理者：㈱コンベンションリンケージ)
年4回発行

2026 夏号
vol.59

障がいのある人もない人も
一緒に学ぶ

インクルーシブな春日部がいいよね！

ユースセンター

障がい者モヤモヤカフェ

活動団体紹介

表紙：●●（撮影協力：粕壁写真クラブ）



若者の居場所について考えよう

中高生の生の声を届ける「ぽぽラジオ」を開催！



6月14日（日）、音声配信イベント「ぽぽラジオ」を開催しました。中高生の利用が多い交流スペースの使い方変更に伴い、若者の理想の居場所や悩みに関するアンケートを実施(回答 55 件)。この結果をもとに、中高生支援団体と協働で音声配信イベントを行いました。

当日は会議室をフリースペースとして開放し、相談室から X (旧 Twitter) のスペース機能で配信。アンケートに基づくフリートークのほか、ぽぽら春日部に遊びに来た高校 1 年生の男子 3 名をゲストに迎えたインタビューもお届けしました。若者たちの生の声を通じ、これからのコミュニティや若者支援のあり方を考える貴重な機会となりました。

子ども・若者の居場所づくり

武里・豊野にユースセンター開設

春日部市では、夏休み限定で小中学生が無料で自由に過ごせる居場所（ユースセンター）を 2 カ所に開設します。みんなでつくるイベントも開催予定です。

ユースセンターとは学校でも家庭でもない、「第三の居場所」。放課後や休日などに、自由に過ごしたり、仲間と交流したり、自分らしい活動ができる場所です。小中学生の「やってみたい」に寄り添う場を提供し、自立を支援する役割を担います。共栄大学の学生ボランティアや、地域の小中学校や市民の皆さんの協力を得て、ぽぽら春日部も「居場所づくり」に参画しています。

フェスティバル参加のお申し込み期限

- 目

2026 年 9 月 20 日（日）21:30 まで
- 受

ぽぽら春日部 4F 事務所窓口にて受付

U30 の居場所づくり

U30 のチルタイム

7/22、7/25、7/29、8/5、8/12（各日 18:00 ～ 21:00）の 5 日間にわたって、ぽぽら春日部の共同事務室で 20 ～ 30 代の若者が気軽に立ち寄れるフリースペース「U30 のチルタイム」を限定オープンしました。

本企画は登録団体の Youth Initiative と協力して、「地元は寝に帰る場所になっている」「今日のモヤモヤを誰かに話したい」……そんな若者を対象に、同世代で気兼ねなく対話したり、本を読んだり、思い思いの時間を過ごしてもらおうというもの。開催中は、普段あまり見かけることのない若者たちで賑やかに過ごす姿が見受けられました。ぽぽら春日部では今後もさまざまな世代の方が立ち寄りたいと思える施設づくりを目指していきます。



最新情報は
はこちらから



一般社団法人日本 ES 開発協会

人をつなぐ「グリーンフェス」の力



「はたらくワクワクの根っこを育む」をコンセプトに活動する「日本 ES 開発協会」は、体験型イベント『グリーンフェス』を毎年春日部市で開催しています。同イベントは、子どもたちが仕事を体験し、働く楽しさや社会とのつながりを学ぶもので、パン販売や移動動物園の飼育員など、多彩な仕事を体験できます。運営には地元の企業や高校生・大学生、児童養護施設など多くの人が参加しており、今年で 14 回目を迎えました。

のんびりおしゃべりしようね会

笑顔とことばを取り戻すきっかけに

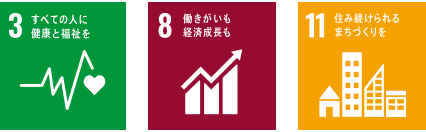


高次脳機能障害や失語症のある方は、退院後やりハビリ終了後、人と会うことや外出への不安から自宅に閉じこもりがちになることがあります。失語症は外見から分かりにくいいため、周囲に理解されず孤立してしまうことも少なくありません。

そんな方々が安心して過ごせるため



の居場所として 2 年程前に始まったのが「のんびりおしゃべりしようね会」です。失語症のれいこさん、ゆうこさんを中心に、埼玉県立大学の小池祐士先生の協力を得て活動しています。「失語症の人は話すまでに時間がかかるから“のんびり”という言葉を入れたかった」と話すゆうこさん。会では「言



活動の根底にあるのは、江戸時代の「結（ゆい）」のような助け合いの精神です。同団体代表の金野美香さんは「学生ボランティアや新たな出展者とも活動の目的を共有し、共感の輪を広げていきたい」と話します。

まずは身近な仲間と楽しむことを大切にしてきた金野さんが次に目指するのは、地域の団体同士が気軽に情報交換や対話を行い、自然と協力し合える場をつくることです。思いに共感した人たちが新たな仲間となり、地域のつながりを育みながら現在も活動の輪を広げています。

一般社団法人日本 ES 協会

【連絡先】 info@jinji-roumu.com

【HP】 https://jinji-es.com/



葉が出なくても大丈夫」「うなずくだけでも大丈夫」という温かな雰囲気大切にされています。

活動は毎月 1 回、喫茶店でコーヒーを楽しみながら、それぞれのペースで会話を楽しみます。最初はうなずくだけだった参加者が少しずつ言葉を口にする姿も見られ、笑顔と笑い声が生まれています。「無理をせず、自分のペースで参加できることが大切」と話すお二人。誰もが安心して自分らしく過ごせる地域づくりにつながる、心温まる活動でした。

のんびりおしゃべりしようね会

【連絡先】 nonbiri.oshaberi@gmail.com



交流

イベント

障害者

防災



当日の内容
はこちらで
チェック！

障がいのある人もない人も一緒に

障がい者モヤモヤカフェ



7月11日（土）、ぽぽら春日部でモヤモヤカフェが開催され、「障がい者のお困りごと」をテーマに、障がいのある方とない方が意見を交わしました。話題となった「災害時の避難」では、視覚障がい者や車いす利用者から「避難情報は音声でも伝えてほしい」「避難所には障害に応じたスペースや支援経験のある人が必要」といった切実な声が寄せられました。また、支援をする際は、いきなり手を引くのではなく、「何かお困りですか」とまず声をかけることの大切さも共有されました。参加者からは、災害時に頼りになるのは日頃から顔の見える地域のつながりであり、障害の有無にかかわらず交流を深め、お互いを理解しておくことが安心につながるという意見が多く聞かれました。



デジタルサイネージで活動情報をゲット！

お知らせ

利用者の皆様に、より便利に施設をご利用いただけるよう、ぽぽら春日部4階の2か所にデジタルサイネージを導入しました。会議室の利用状況やイベント・講座のお知らせなどを見やすく表示し、必要な情報をタイムリーにお届けします。施設を訪れた際は、ぜひご覧ください。



新しい職員をご紹介します

お知らせ

ちょっぴり照れ屋な一面も！
（ぽぽらスタッフ談）



2026年5月より、
ぽぽら春日部勤務となりました
内藤靖之（やすゆき）と申します。
何事にも一所懸命頑張っていこうと
考えております。
よろしくお願いいたします。



お知らせ

ぽぽらの共催イベント

社会のこと、春日部のことを知るのはココ！

ぽぽら春日部では、登録団体の皆さんと一緒に、毎月さまざまなテーマでセミナーやイベント、展示等を開催しています。

関心のあるテーマがあればぜひお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしています。

詳しくは右記のQRコードからご確認ください。



お知らせ

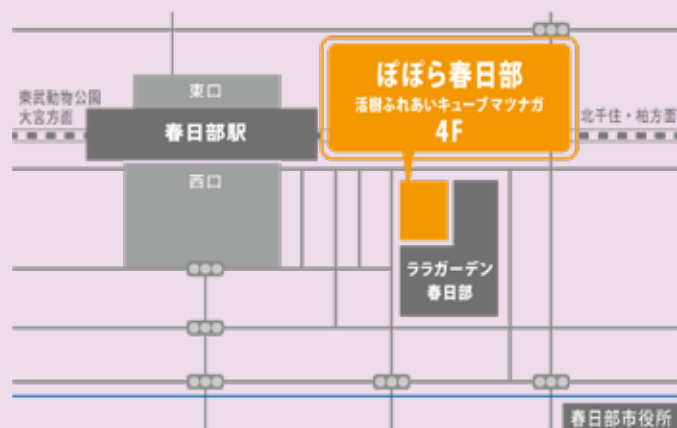
新規登録団体情報 NEW

新規に登録された団体をご紹介します。
団体の紹介や交流を希望される方はセンター窓口にお問い合わせください。



活動内容
はこちら
から

- 子どもみらい春日部 ●暮らしの保健室 りあん
- 春日部市障がい福祉協会 ●一般社団法人あんしんの輪
- シルバーPCクラブ ●一般社団法人ソブリン・ムーブメント
- 埼玉県家庭教育アドバイザーネットワークSPAN
- かすかべ交流会実行委員会 ●RE-ver 会（順不同）



※東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩5分。
※駐車場（有料）は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから

☎ 048-731-3550

✉ popola@kasukabehall.jp

春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）

年中無休（年末年始を除く） 9:00～21:30

〒344-8578 埼玉県春日部市南1-1-7 活樹ふれあいキューブ マツナガ4階

HP



※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。詳しくはHPをご覧ください。
※交流・ミーティングスペース、キッズスペースなどは、団体登録なしにどなたでも

自由にご利用いただけます。